

講 演 会 の ご 案 内

「みためし田んぼから学ぶ」

印旛沼・流域の再生事業として、2005年度より5年間、冬期湛水・有機農法の水田と慣行田との比較実験（米の収穫量・水質・土壤・生物などを調査・検討）をされた報告をします。

講演者：小倉 久子さん

印旛沼流域水循環健全化会議委員、元千葉県環境研究センター
美しい手賀沼を愛する市民の連合会顧問

日時：平成25年6月1日（土）午後2時45分～4時30分

場所：千葉県手賀沼親水広場 水の館3階

（我孫子市高野山新田 193 電話 04-7184-0555）

冬期湛水田とは、冬水たんぼとは、慣行田とはなんでしょう？

手賀沼は、きれいになるのでしょうか？

生物がたくさんふえるのでしょうか？

渡り鳥は来てくれるのでしょうか？

みんなで考え、一歩ずつ進めませんか。



当時は、「美しい手賀沼を愛する市民の連合会」の総会が行われ、その後に本講演会が開催されます。

多くの皆様方の参加を心からお待ちしております。

主 催:美しい手賀沼を愛する市民の連合会
連絡先 美手連会長 電話 04-7169-8903